経営比較分析表（令和5年度決算）

岩手県　宮古市

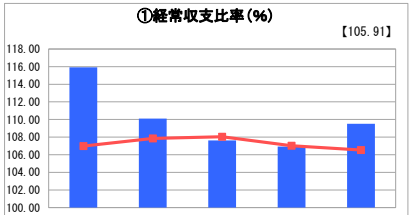
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	65.27	62.47	94.52	3,080

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
46,866	1,259.18	37.22
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
28,945	10.51	2,754.04

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

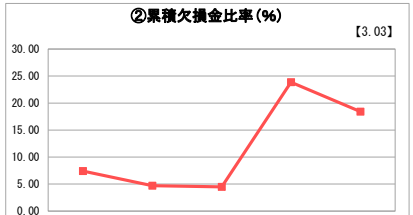
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【105.91】



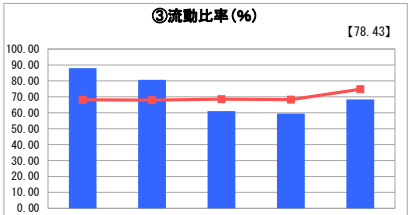
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	115.92	110.10	107.62	106.93	109.51
平均値	106.99	107.85	108.04	107.01	106.53

②累積欠損金比率(%)　【3.03】



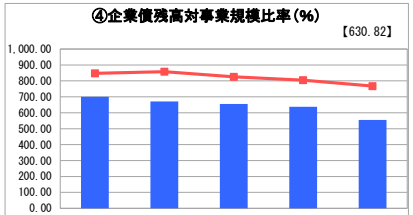
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	7.42	4.72	4.49	23.86	18.41

③流動比率(%)　【78.43】



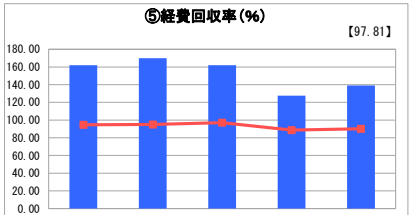
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	88.03	80.64	61.08	59.43	68.37
平均値	68.18	67.93	68.53	68.27	74.79

④企業債残高対事業規模比率(%)　【630.82】



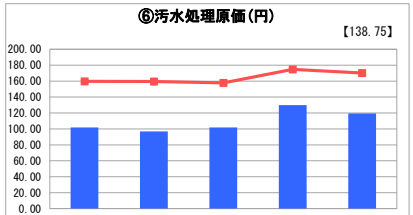
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	700.63	670.67	655.57	637.62	555.36
平均値	847.44	857.88	825.10	804.98	767.56

⑤経費回収率(%)　【97.81】



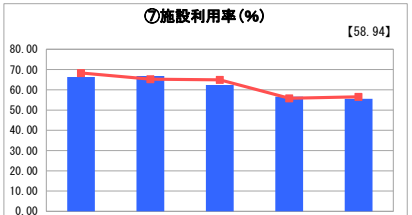
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	162.04	169.90	162.01	127.57	139.01
平均値	94.69	94.97	97.07	88.71	90.23

⑥汚水処理原価(円)　【138.75】



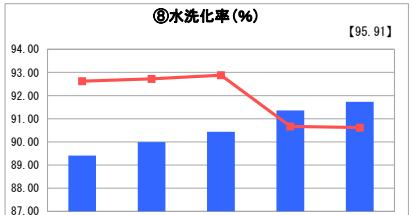
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	101.86	96.76	101.82	129.77	119.42
平均値	159.78	159.49	157.81	174.80	170.20

⑦施設利用率(%)　【58.94】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	66.29	66.81	62.40	56.64	55.56
平均値	68.31	65.28	64.92	55.82	56.51

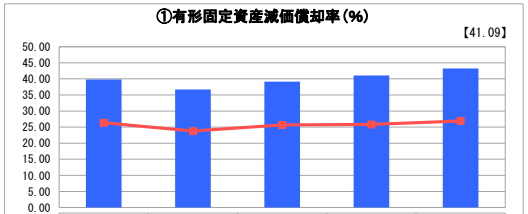
⑧水洗化率(%)　【95.91】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	89.41	89.99	90.44	91.36	91.73
平均値	92.62	92.72	92.88	90.67	90.62

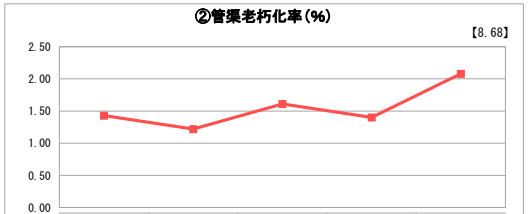
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【41.09】



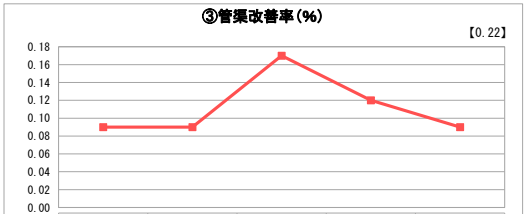
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	39.82	36.73	39.15	41.08	43.23
平均値	26.36	23.79	25.66	25.86	26.90

②管渠老朽化率(%)　【8.68】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	1.43	1.22	1.61	1.40	2.08

③管渠改善率(%)　【0.22】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.09	0.09	0.17	0.12	0.09

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
　経常費用に対する経常収益の割合を表す指標です。各年度とも黒字を示す100%を超えています。
②累積欠損金比率
　複数年度にわたって累積した欠損金の割合を表す指標です。累積欠損金はありません。
③流動比率
　短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。100%を下回っていますが、経営状況は黒字で推移しており、企業債償還の財源も確保しています。
④企業債残高対事業規模比率
　使用料収入に対する企業債残高の割合を表す指標です。下水道整備事業がほぼ完了し、企業債残高が減少していることから、前年度より低下しています。
⑤経費回収率
　経費をどの程度使用料収入で賄えているかを表した指標です。汚水処理費（減価償却費等）の減少に伴い、当該比率は上昇しています。
⑥汚水処理原価
　汚水１㎥当たりの処理費用を表す指標です。減価償却費等の減少に伴い当該比率は低下しました。類似団体よりも低い水準で推移しています。
⑦施設利用率
　施設の処理能力に対する処理水量を表す指標で、施設の利用状況等を表す指標です。施設の平均処理水量が減少したことにより当該比率は減少しています。
⑧水洗化率
　水洗便所を設置している人口の割合を表す指標です。処理区域内人口の減少により増加しています。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
　資産の老朽化度合を表す指標です。類似団体より高い割合となっていますが、これは類似団体と比較して供用開始時期（昭和63年10月）が早かったためと考えられます。
②管渠老朽化率
　下水道管の老朽化度合を表す指標です。S52から事業に着手しており、現在のところ老朽化した下水道管はありません。
③管渠改善率
　下水道管を更新した割合を表す指標です。H28から下水道管の長寿命化事業により管渠の更新を行っています。

全体総括

　人口減少に伴う使用料収入の減少等により経営は厳しさを増しています。収支の安定を図るために、経費削減と併せて、使用料の見直しを検討する必要があります。また、長期的な視点で費用の低減に取り組むため、計画的に施設や下水道管の長寿命化を図っています。